



成長
企業
の
力

同社の食品輸送を担う日野プロフィア。200万キロ・ノーオーバーホール車も活躍中(左から2台目)。

“笑顔とまごころ” を運んで半世紀 次の100年、150年 を見据えて邁進中

福島県
有限会社 柏屋運送

“笑顔とまごころ”で、食品の高品質輸送を展開中

日本三大まんじゅうのひとつである『柏屋薄皮饅頭』。奥州街道の宿場町として知られる福島県郡山市で、1852(嘉永5)年に創業した『柏屋』が旅人に提供したのがこの饅頭でした。それから約170年。柏屋で製造される菓子の配送をメインに、冷凍・冷蔵車による食品輸送を担っているのが有限会社 柏屋運送です。“笑顔とまごころ運びます”を経営理念に、半世紀以上の歴史を誇る同社。配送エリアは福島県を中心に北は宮城県、南は神奈川県までをカバーしています。

ケーキなどデリケートな食品を運ぶこともあって、温度管理や急発進・急ブレーキ・急ハンドルなど“急”の付く運転(3急運転)を避けることを徹底。加えて洗車や荷室内の洗浄、身だしなみと

いったマナーに至るまで、品質や衛生面に配慮した輸送に努めています。

「ドライバーは会社を出発したら1人のオーナーです。“笑顔とまごころ”をモットーに元気よく挨拶をするなど、当たり前のことを当たり前実践してもらうよう伝えています」と語る新妻弘行代表取締役社長。同社では福利厚生の一環として、充実した補償内容の業務災害総合保険に加入するほか、スタッフおよびその家族に誕生日ケーキや季節に合わせてお菓子を贈っており、それが人材定着かつ家族の満足度向上につながっています。



固い絆で結ばれたスタッフとともに、会社の継続発展に尽力する新妻弘行代表取締役社長。



事務所に掲示されている経営理念。出発前に気持ちを引き締めます。



徹底した洗車は、イメージアップだけでなく不具合箇所の早期発見にも効果的です。

福島県郡山市に本拠を置き、銘菓『柏屋薄皮饅頭』の配送をはじめとした、食品輸送に特化する有限会社 柏屋運送。配送時は、食品の温度管理はもちろん身だしなみや挨拶の徹底など“当たり前前を当たり前に行う”姿勢が、お客様からの半世紀以上にわたる信頼につながっています。

車両を大切に扱うのも同社の特長であり、200万キロ・ノーオーバーホール車も活躍中。また、全車にドライブレコーダーを装備するなど安全の底上げを図っており、稼働を止めない運行を実践しています。

有限会社 柏屋運送
住所: 福島県郡山市方八町1丁目2-6
TEL: 024-944-0421
代表者: 代表取締役社長 新妻弘行
設立: 1972(昭和47)年7月
従業員数: 92名
車両保有台数: 83台

高稼働の維持は、車両を大切に扱うことから

安全対策のひとつとして、同社では全車両にドライブレコーダーを装備。室内外の状況確認をはじめ運転中のわき見や居眠りの警告、動態管理などの機能が事故削減に大きく貢献しています。

「ドラレコを活用する理由は、一番にドライバーを守ること。商品をお客様にお届けし、無事に家まで帰ってくることが家族への最大のお土産です」と鈴木康則専務取締役。同社では、福島日野自動車による巡回サービスも受けており、エンジンや灯火器、足回り関係の点検を通じて故障や不具合の早期発見につながっています。保有する200万キロ・ノーオーバーホール車の

活躍は、車両を大切に扱う同社の姿勢そのもの。この車両にはベテランドライバーが乗務しており、3急運転をしないことに加え、走行中に異音を感じたらすぐに報告して点検を実施。こうした予防整備により稼働を止めない運行を実践しています。

「柏屋運送が好きで入社してきたスタッフが約100名、その家族を含めれば400名以上いますので、会社の継続は使命です。今後、事務所の新設など働きやすい環境づくりにも一層取り組んでいきます」と力を込める新妻社長。“安心、安全”に“笑顔とまごころ”を運び、この先の100年、150年を見据えます。



全車両に装備したドライブレコーダーはドライバーの安心感を支えています。



『柏屋』のお菓子をラッピングした日野デュトロは、主に地場配送で活躍。